

| | |
|---|---|
| 開講科目名 Course | 労働法研究演習 1 年 |
| 時間割コード Course Code | 17303 |
| 開講所属 Course Offered by | 法学研究科修士課程 / |
| 開始年度・学期 Start Year・Semester | 2021年度 / Academic Year 前期 |
| 曜限 Day, Period | 木 / Thu 2 |
| 開講区分 semester offered | 通年 / . |
| 単位数 Credits | 4.0 |
| 学年 Year | 1 |
| 主担当教員 Main Instructor | 榊原 嘉明 |
| 科目区分 Course Group | 研究演習科目 |
| 教室 Classroom | 6 E 1 2 演習室 |
| 講義形式 Lecture Style | 演習科目 |
| 担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation) | 榊原 嘉明 (法学部) |
| 授業の目標 | |
| 授業の概要 | <p>【授業目標】 労働法学研究を単独又は共同で遂行する基礎的な能力の修得を、獲得目標とする。</p> <p>【授業概要】 受講生の研究計画及びその進捗状況に合わせて、研究指導を行う。</p> <p>【評価方法】 受講生の授業への参加度並びに労働法研究能力の習熟度を基準に、評価を行う。</p> |
| 評価方法 | |
| 教員の指導に従わない以外の事由 による失格基準 | |
| 授業計画 | |
| テキスト | 水町勇一郎『労働法〔第8版〕』（有斐閣、2020年） |
| 参考書 | 橋本陽子『労働者の基本概念 ?労働者性の判断要素と判断方法』（弘文堂、2021年） |
| アクティブラーニング、ディスカ ッション、実習等 | |
| アクティブラーニング、ディスカ ッション、実習等の内容 | |
| 実務経験のある担当教員による授 業 | |
| 担当教員の実務経験を活かした授 業の内容 | |
| 質問への対応方法 | |
| フィードバックの方法 | |
| 予習・復習等、準備学習の内容及 び時間 | |
| 使用言語 | |
| SDGs 17の目標（1～10） | |
| SDGs 17の目標（11～17） | |